

## ◆ 江戸川都税事務所長賞 ◆

「税に支えられた私の夏」

江戸川区立西葛西中学校 3年 千葉 愛弓

私は小学五年生から水泳をやっているが、今年人生で初めて二つの全国大会に出場することになった。全国中学校大会とジュニアオリンピックの出場だ。全国大会に向けての合宿などハードな夏休みになったが、これまで全国大会出場を目標に頑張ってきたため嬉しいと同時にやる気に満ち溢れていた。

ただ少し悩みがあった。それは出費についてだ。全国中学校大会は香川県で開催され、妹も出場する。さらに大会前の合宿は福島県だったため、家計の負担が大きかったからだ。さらに合宿の最終日と全国中学校大会の出発日が重なっていたこともあり、合宿の参加を断念しようか迷っていた。そのとき、香川県までの交通費が税金で出るという情報が回ってきた。そこからは引率の先生が交通手段をあれこれ調べてくださり、財布に優しく、移動が大変じゃない経路で香川まで行けることになった。おかげで合宿にも参加することができ、泳ぎ込んでから全国中学校大会にむけて出発することができた。

台風の影響で新幹線が長時間止まってしまったりして、香川までの移動はとても大変だった。そのため大会本番ではあまりいいタイムがでなかったけれど、とても貴重な経験ができた。大会が終わり、家に帰るまでの道で見た水平線と夕陽が今までの努力を認めてくれたように感じた。この夏のことは忘れない、そう思えるほどに濃い夏だった。

夏休み中盤に兄が学校の寮から帰ってきた。兄は自衛隊の学校で寮生活をしているため、家に帰ってくるのは大きな休みの期間だけ。自分の夢に向かって進んでいる背中からは前よりもずいぶん大きくなったように見えた。そんな兄の自衛隊になるという夢も税金が支えてくれているんだよ、と母から聞いた。

私にとって今まで税金は払うもので、あまり良くは思っていなかった。物を買ったら消費税、温泉に入ったら入湯税がとられる。税金がなければあと何円安いのか、なんて考えはこの一か月で 180 度変わった。税金の支給がなければ合宿に参加できず、友達やコーチとも出会えなかったし、きつい練習もみんなで乗り越えたという自信もないままレースを泳ぐことになったのかもしれない。もっと広い目でみると税金がないと大会の会場が作れず、道路などが整備されていなくて移動に苦労するかもしれない。私たちの夢は、将来は、税金に支えられていたんだ、そう思った。

私が今年の夏に経験できたものに限らず、私たちの生活は全国の人が納めてくれた税金によって成り立っていることに気付かされた。教科書やタブレット、公園など、あげればきりがなし。私はまだまだたくさん種類のある税金の一部しか納めていないけど、将来自分の納める税金によって誰かの役に立てたらいいな。そう思った。